

## 【蔵書の除籍についてのご相談】



お世話になっております。日頃は図書館運営にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

今後の蔵書管理について、現状とそれに伴う課題をご相談をさせていただければと思います。現在、閉架スペースには多くの古い本が保管されており、中には昭和年代の全集もあります。保管状態はあまり良いとは言えず、埃・カビ臭も見受けられます。(本のカビには喘息を引き起こす要因になるものもあります)衛生面からも対策が必要かと思われま。

今後、学校図書館の館長である校長先生のご許可をいただきながら、随時、除籍廃棄をしていきたいと思ひます。

(文科省の定める蔵書基準数〇〇〇〇冊は回らないようにいたします。→現在の蔵書数は〇〇〇〇冊)

以下、**除籍の進め方として2案**用意いたしました。どちらの方法がよろしいかご教示ください。

### ① 全国学校図書館協議会の定めた基準（添付書類）に基づき、司書が選定

\*全集については、類似書籍が地元公共図書館にあるかどうか、学校への貸出しが可能かを確認の上、選定します。

選定は司書が進めますが、最終的には図書担当の先生と校長先生からご許可をいただいた上で廃棄を進めます。

### ② 先生方にご判断いただく

\*私の方で、除籍候補本の写真や情報をまとめ、除籍可否の回覧をしていただく  
(主に国語科)



すべての蔵書が「スタメン」として活用できる図書館を目指して、少しずつ進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。